かお

鹿児島マラソンのポスターのイラストを手掛ける

大寺（おおてら） 聡（さとし） さん

4日開かれる「鹿児島マラソン」のポスターのイラストレーションを手掛ける。初開催から3年連続で担当、公式焼酎や水のラベルにも使われ、ランナーならずとも目にする機会が多い。明治維新150周年記念の今年は、さわやかな自然の中を西郷隆盛らが駆け抜けるイメージとなった。

マラソンばかりでなく、テレビや広告、ウェブなど活躍の場が多岐にわたる理由を「デッサンで磨いた空間表現やデザインとの親和性の高さでは」と自己分析する。観光面の発信力も評価され、2017年度県芸術文化奨励賞に選ばれた。

日置市生まれ、東京育ち。武蔵野美術大学空間演出デザイン学科卒業後、イラストレーターとして東京を拠点にしていたが、2000年に亡父の故郷・吹上に移住。デジタル技術と自然との共生を題材にした創作にも力を入れる。「自分の世界観をさまざまなメディアを通して展開したい」

霧島アートの森（湧水町）で個展を開催中で、経済一辺倒の社会や都市部への一極集中に警鐘を鳴らす物語仕立ての作品が目を引く。「イラストレーションはイルミネーションと語源が同じという。暗がりに光を当て、社会問題を分かりやすく伝える役割がある」と語る。個展と同時に、鹿児島大学の井原慶一郎教授と初の作品集も刊行。「もっといろいろな面白いことに挑戦したい」

日置市吹上町永吉に母と妻、3人の息子と暮らす。土曜朝に地域住民が集う「アサカツ」の中心的存在でもある。51歳。

（福留梓）